



「じゃあやっ」

松商野球部OB会 会長

召田 三博



松商野球部OB会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃はOB会の活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

5月の連休に春の公式戦が始まり、選手の身体からはオフシーズンに鍛えられたたくましさを感じました。残念ながら県大会の初戦は守備の乱れにより敗退してシード権を逃す結果となりましたが、松宗監督が目指す「心の野球」が試合のなかで垣間見ることが出来ました。本番の夏まで更に心身を鍛え上げ、甲子園出場をつかみ取ってこれることを期待しています。

さて、本年度は会員の皆様への通信手段の改善を図ることに着手いたします。本会及び学年幹事からの情報発信や会員同士のネットワークを容易にすることにより会の活性化及び経費の削減を行います。近年、スマートフォン等の通信機器が生活の一部となっていることを利用して、会報の発信、総会の通知など会員の皆様への連絡やお知らせ、打合せなどに活用することを考えています。これにつきましてはあとで小口副幹事長より報告がありますので、ぜひ一読いただき、引き続き皆様からのご意見やご協力をよろしくお願いいたします。

去る、5月22日にOB会の行事として第1回のゴルフ大会を、あづみ野カントリークラブにおいて開催いたしました。会員の親睦及び健康維持の一助として継続していきたいと思えます。多くの年代の皆様に参加していただけるように運営して参りたいと思えますので、ご意見等よろしくお聞かせください。今年こそ甲子園出場の校歌が聞けることを切に願っています。

OBの皆さん、球場に足を運んでいただき母校選手への声援をお願いいたします。そして甲子園出場決定の校歌をみんなで歌いましょう。終わりに皆様のご健康、ご多幸を祈念して挨拶とさせていただきます。

「心の野球2024」

松商学園高等学校硬式野球部 監督

松宗 勝



日頃より硬式野球部に対し、温かいご支援ご声援を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年の夏の大会で味わった「あと一步の悔しさ」を晴らすために、この1年間はより高いレベルを肌で感じるため、仙台育英や慶應義塾との練習試合、土台をより強くするための冬のトレーニングや体作り、チームの意識や考え方を統一するためのミーティングなど、様々なことにこだわりと信念を持って活動を進めてきました。決して順調な道ではありませんでしたが、羽生田キャプテンを中心に選手は多くの経験をしながら成長してきました。また、チーム力をさらに高めるために今年から新たに『チーフコンダクター』というポジションを設立しました。「コンダクター」には「指揮者」「導く」という意味があり、キャプテンと共に選手を引っ張り、チームの一体感を築いてほしいという思いが込められています。以前はマネージャーという役割でしたが、より役割を明確にするためにこのようなポジションを設立しました。現在は3年生の新井がその役割を担っています。

今年のチームスローガンは「應」（こたえる）です。選手は様々な方々の思いに應えるためにグラウンドで必死に頑張っています。OBの皆様にはグラウンドに是非来ていただき、激励をしていただければ大変うれしく思います。

新入部員34名が加わり、選手総勢90名となりました。是非、試合球場にも足を運んでいただき、「松商ファミリィ」として、スタンド、選手が心を一つに戦っていければと思っています。皆様から大きな声援が選手の大きな力になります。ご期待に應えらるよう選手、スタッフは日々努力を積み重ね、さらに進化させた「心の野球」に「応援されるチーム」で一球を大切に戦ってまいりますので、今後もご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

「J」挨拶

松商学園高等学校硬式野球部 部長 小林 真史



平素よりOB会の皆様におかれましては、硬式野球部の活動に際しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。3月には補食のための精白米をご提供いただきありがとうございます。生徒たちは平日は練習前、休日は練習後にやまもりの白米を食べています。2024年の松商野球部は、「應(こたえる)」をスローガンに、新人生を迎えた総勢90名で夏に向けて日々練習に励んでおります。指導陣は昨年度と変わらぬメンバーに、4月よりOBである中嶋海久コーチが加わり新体制で臨んでおります。

さて、2024年は元日に石川県能登半島を中心に大規模な地震にみまわれる、悲惨な年明けとなつてしまいました。改めて亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されいまだ復興のさなかにある方々が、一刻も早く通常の生活を取り戻されることを切に願うばかりでございます。さりとして、私たちの生活や活動を止めるわけにもいきません。こういった状況の中で私たちができること、見失ってはいけないことは、被災者の方々に想いを寄せつつ、日々の暮らし・時間を大切に、1日1日を精一杯生きることだと思えます。野球部は3月に慶応義塾高校・仙台育英高校、4月に山梨学院高校・日本文理高校といった強豪校をはじめ多くの練習試合を重ねてきました。春の県大会では辛酸をなめましたが、臥薪嘗胆を胸に、生徒たちは一歩ずつ確実に成長し、夏の大会では多くの活躍をみせてくれるとでしよう。

私は、力だ。

力の結晶だ。

何物にも打ち克つ力の結晶だ。

だから何物にも負けないのだ。

病にも、運命にも、

否、あらゆるすべてのものに打ち克つ力だ。

そうだ！

強い、強い、力の結晶だ。

中村天風「力の誦言」

1人1人が力の結晶を自覚し、強い信念を持って取り組んでまいります。この夏も温かいご声援をお願いします。

最後に、OB会の皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

「三十八回目の甲子園」

松商学園高等学校硬式野球部 主将 羽生田 流夷



日頃より松商学園硬式野球部の活動に、熱いご支援を頂きありがとうございます。昨年夏の決勝、上田西高校との戦いは、8回までリードしている展開で、初戦からここまで大きな守備のミスもありませんでした。このイニングで目の前のアウト一つとることの難しさを痛感し、また優勝を目前にしての逆転負けという、今まで味わったことのない悔しさを感じました。間もなく新チームとなり秋の大会がスタートしました。夏の悔しさを絶対に忘れてはいけないという思いを全員が共有しながら練習に臨み、ミーティングを重ね、考え方や方向性を確認しました。その中で新たなチームのスローガンとして「應(こたえる)」を掲げました。応援してください。多くの方々の期待にこたえる、三年生の思いや色々な方々の思いにこたえる、といった気持ちを決めました。

秋の大会は、中信4位、県大会3位と、思うような結果ではなく、北信越大会初戦の星稜高校との戦いでも力の差を感じさせられました。勝負所での強さなど、日本一のチームからたくさん学ぶことがありました。

冬の期間は体づくりに重点を置いて取り組みました。練習前に補食として白米を食べ、ウエイトトレーニングを週3日行うなど、今までは違うシーズンを通りました。その成果として、今春には全員が体重を増やし、中には10〜15キロ以上体重を増やした選手もいます。フィジカル面で力がつき、スイングの力も全体的に強くなりました。

しかし、慶応義塾高校や仙台育英高校との練習試合をはじめとする春の遠征は、苦しいものでした。私はチームとしても個人としても自信を失なにかけていましたが、それでも自分たちが試行錯誤しながらやってきたことを信じて、取り組み続けました。春の大会も正直なところ不安な部分はありませんでしたが、1試合ごとにチームも少しずつ変わり成長を感じることができました。県大会は初戦で敗退してしまいましたが、夏までにもう一回鍛えなおし、大会に臨みます。

松宗監督が追求している「心の野球」という考えは、とても素晴らしいものだと思っています。プレーはもちろん、プレー以外の部分もチームとして大切にしています。「応援されるチーム」を目指し、1人でも多くの方に「応援したい」「観戦して良かった」と思ってもらえるような姿をグラウンドで表現し、勝利を届けたいと思います。

春も悔しい結果に終わりましたが、昨年同様ノースードからの戦いとなり、1戦1戦が紙一重の戦いとなりますが、松商学園のプライドを忘れず、多くの先輩方、応援してください。最後までも松宗監督を信じ、「三十八回目の甲子園出場」を必ず掴みます。熱い応援よろしくお願ひ致します。



松商野球部OB会 第1回ゴルフコンペ



松商野球部OB会 副会長
大月 弘士

5月22日水曜日、OB会としては初めてのゴルフコンペを総勢24名参加のもと、「あづみ野カントリークラブ」で開催致しました。天候にも恵まれ晴天のなか20代から70代の幅広い年代層と非常に楽しい有意義な時間を共有致しました。

召田会長からも幅広い年代層が集まったコンペということで、ゴルフのプレーを楽しむと同時に、懇親会でも松商学園硬式野球部発展のために様々なご意見を頂きたいとご挨拶がありました。プレー終了後の表彰式は松本市内の「炉端まんてん」様で開催し、96回上條宏聡さんが優勝、79回高橋昭二さんが準優勝という結果でした。

県内各地のシニアリーグの優秀な選手の情報や、夏の全国大会に向けたご意見など、野球談議に盛り上がった懇親会で、最後は横山幹事長の指揮のもと松商学園応援歌「どんと行け」と校歌を斉唱し閉会となりました。

今後ともOB会の皆様とは、総会や新年会だけでなく懇親の場を設けたほうが良いというご意見を多数頂いたなか、次回10月9日の中信地区高校野球OB連盟のゴルフコンペにも、松商野球部として複数組の参加をし、懇親を深めてこようと思います。今回参加できなかった会員の皆様も次回ぜひご参加頂ければ幸いです。



召田会長の始球式

ゴルフ成績

順位	氏名	回卒	GROSS	HDCP	NET
優勝	上條 宏聡	96回	81	10.8	70.2
準優勝	高橋 昭二	79回	81	9.6	71.4
第3位	山崎 浩	87回	81	9.6	71.4
B G	伊藤 雅章	81回	78	6.0	72.0



召田会長と優勝者96回卒上條宏聡さん



表彰式・懇親会

松商野球部OB会学年幹事宛 「連絡手段等についてのアンケート結果と今後」

松商野球部OB会 副幹事長

小口 卓哉

63〜123回生までのOB会学年幹事61名の元に、令和6年4月、表記アンケートがOB会より発送されました。ここ数年、スマートフォンなどの普及によるLINEやFacebookなどのSNSツールが日常生活には欠かせないものとなってきました。そこでOB会としては、同期の集まりなどイベントの開催案内、家族などの訃報連絡、甲子園出場の寄附金集めなど、どのようにして同期の仲間へ連絡をとっているのか？一度調べてみて、各学年幹事の連絡手段の参考にさせていただければとの思いから今回、実施させていただきました。アンケートにご協力いただいた学年幹事のみならず、ありがとうございます。

①「連絡手段」については、「LINEなどのSNS」「電話とSNS」を使用されている学年が多いことがわかりました。一度グループラインを構築できれば、登録者全員に必要な情報や画像を一斉送信できますし、個々の意見やメッセージを登録者全員で共有できるといった利便性も優れています。高い年代の学年では「連絡網」「電話連絡や手紙」といった連絡手段が使われている傾向が高いことがわかりました。

将来的には、OB会（OB会長）↓学年幹事↓同期のみなさん（OB全員）にスムーズに連絡が届くようなシステムが構築できればと考えます。

②「同期の情報把握」については、ほとんどの学年が「全員」もしくは「8割くらい」の同期の連絡先を把握していました。これを機会に、多くの同期OBの連絡先を把握していただければと思います。

③「ご意見・アイデア」については、「SNSの

有効利用」「ペーパーレス」「pdfファイルの発信」「会報のホームページ掲載」といったデジタル化への移行についての意見が占めました。

④「OB会報」については、今回10号となりました。発刊当時の高根基OB会長の「OBのみならずへの情報発信と連携を図るためのツールを作らないといけない」という強い情熱と思いが、会報発刊につながりました。最初は練習環境の紹介など写真も多く使われてきましたが、最近では情報量も多くなくなり、限られたページ内に文字を詰め込みすぎた結果「文字が小さくて読めない」といったご意見もいただいております。そうはいっても上の年代の方からは「やはり紙ベースで毎年届くのを楽しみにしている、老眼鏡や虫眼鏡を使って読ませてもらっている。紙のまま」といったご意見もあります。若い年代の方からは、今の時代「pdfファイル」をSNSで閲覧すればコスト削減にもなる」「専用のホームページに掲載して読みたい人がアクセスして閲覧すればよい」といった英語やカタカナが混在した現代流のご意見も多数あります。

このような年代ごとの様々なご意見があるとはいえ、今回のアンケートを基に、今後のOB会報のあり方や内容の見直し、お届け方法の検討を進めていきたいと考えます。

⑤「OB会費の納入」については、毎年納めていただくOBの方がいらっしゃる一方、学年によっては一人も納入されない、一度も納入されたことがない方も大勢いらっしゃいます。毎年、夏の大会前の7月上旬、OB会報と一緒に会費の振込用紙を同封させていただいております。現状ではご自身で郵便局に足を運んでいただき振込用紙を使ってお振込いただく形と、郵便局以外の指定口座（OB会報に掲載）にご自身でお振込（インターネットバンキングも可能）いただく形の2パターンになります。年代によっては従来通りの振込用紙の方がわかりやすい、若い年代の方々はスマホ決済（PayPayなど）ならすぐに行ける、など様々なご意見もあります。OB会費納入方法の選

以下よりOB会報のバックナンバーが閲覧（ダウンロード）できます。

一度、硬式野球部の公式ホームページもご覧ください。

【松商学園高等学校 硬式野球部 オフィシャルページ】

- ①松商野球部で検索→TOP ページへ
- ②新着情報
- ③野球部紹介（歴史・選手紹介・練習施設）
- ④活動方針
- ⑤取り組み
- ⑥年間スケジュール
- ⑦リンク（校友会など）
- ⑧関係団体（校友会・後援会・OB会）←このページの
下段にOB会報のバックナンバーが掲載されています。



今後ともOB各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

「OB会報」と「OB会費納入」については常に連携しています。OB会報のデジタル化とOB会費のスマホ決済、コンビニ決済など、今後慎重に検討していきたいと考えます。

扱肢を増やせるのか、ただ増やすだけではなく、どのような手段が有効か、簡単か、今後早急に検討していかねければなりません。現在、全国に住所を把握している1、138人の野球部OBがいらっしゃいます。そのうち会費納入者は280人です。これが300人、350人と増えていけば、今以上にOB会活動も活発に、選手への強化費の増額も可能になり、それが選手たちへの練習環境の改善になり、甲子園出場はもちろん、継続的にサポート体制が確立され、常勝チームの構築へとつながると思います。一度、このOB会報誌面最終ページにある会計報告をご覧いただき、OB会の収支状況に関心をもっていただければ幸いです。



一球入魂

質問内容 (回答者 29 名 /61 名中 回答率 47.5%)	回答数
質問① 甲子園出場等の寄付金集め、もしくは同期での集まりなどの連絡手段について教えてください。(複数回答)	
(1) LINE などの SNS を使用。	20
(2) 電話と SNS の併用。	11
(3) 連絡網 (電話等) を使用。	2
(4) 代表幹事が 1 人 1 人に電話、手紙等で連絡。	6
(5) 連絡手段がない (連絡しない)。	0
・我々は人員が少ないため、電話で依頼しています。	
質問② 同期の皆様の情報について、代表幹事が把握されているものを教えてください。	
(1) 全員の連絡先 (電話もしくは SNS など) を把握している。	10
(2) 8 割くらいの連絡先を把握している。	15
(3) 半分くらいの連絡先を把握している。	3
(4) 数名の連絡先しか把握していない。	1
(5) その他	0
質問③ 今後、OB 会では、情報ツールを使用した効率の良い連絡方法を検討・紹介していきたいと考えております。ご意見やアイデアがありましたら、ぜひお聞かせ下さい。	
<ul style="list-style-type: none"> ・SNS の有効活用しかありません。 ・紙ベースでの郵送は大変かと思っておりますので、ペーパーレスを進めていくと同時に SNS などを通じ、PDF ファイルなどでの発信を進めていければいいのではないかと思います。 ・OB 会だけのホームページを作り、連絡等をそこに載せれば誰でも見ることができて良いと思っております。会報等も掲載することで紙代も節約できると思っております。 ・SNS の有効利用。 	
質問④ あなたが、今後の OB 会報の閲覧方法について希望することについて教えてください。(複数回答)	
(1) 今まで通り、紙ベースで全員への郵送が良い。	9
(2) OB 会ホームページに会員専用として会員からアクセスして閲覧してもらおう。(現在ホームページ掲載のバックナンバーは、会計報告を省略して掲載している)	12
(3) デジタル化の普及に伴い、LINE 又は E メールに添付して発信する。	13
(4) その他	0
無回答	1
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページもなかなか見ないので、インスタグラム、フェイスブックなどを利用し、スマホで簡単に見られる形の方が良いと思う。 ・会報のお届けは、現在 OB 会費を納入してもらおう手段としており、デジタル化した場合、会費収入減につながる可能性がある。 ・会員専用のログイン ID とパスワードによるアクセス方法にしてはどうか。 	
質問⑤ あなたが、今後の OB 会費の納入方法について希望するものを教えてください。	
(1) 郵送された郵便局の振込取扱票を持参し、郵便局に向かいいただき、振込口座へ振込みしてもらおう。(手数料 OB 会負担)	11
(2) 金融機関 (松本信用金庫・八十二銀行) に向かいいただきインターネットバンキングを利用して OB 会口座へ振込む。(手数料はご負担願う)	15
(3) その他	2
無回答	1
・可能であれば PayPay といったキャッシュレス決済の活用。	

ご意見

- ・OB 会報を発行し 10 年になるので、過去の OB 会費未納者へは発送しない (会報で事前に告知する) 方法をとる。またはホームページでの会報へのアクセス制限をかける。
- ・OB 会費を集める方法をしっかり検討してからデジタル化等への移行を考えた方がよい。
- ・LINE などの SNS の情報管理に問題がありそうなので、個人情報管理には気を付けた方がよい。



令和 4 年より、現役選手への捕食が始まりました。基本、授業の行われる日に限って実施しております。一人あたり 1 日お米 0.15 Kg の計算で、学校はもちろんのこと OB のみなさん、保護者会等のご協力により、お米をご用意いただいております。単純計算で 1 年間に 244 日間、お米 2600 Kg、お米の購入費と炊飯費用が約 88 万円となっております。

写真は食事風景と屋内練習場の廊下に張られている体重表です。9 月からの体重がほぼ全員上がっているのは、やはり補食の成果だと思えます。中には目標体重を大きく上回っている選手もいます。引き続きご支援ご協力をお願い致します。



補食の成果



松商学園高等学校硬式野球部 部長

小林 真史

令和5年度事業報告

1月6日	練習はじめ(松商グラウンド) 必勝祈願祭(筑摩神社)
7日	松商野球部OB会総会・新年会 父母会主催 3年生を送る会
3月	松商野球部OB会役員会
30日	松商野球部OB会編集委員会 ・昨年同様会議はすべて中止し、メール審議で編集
4月～6月	松商野球部創部110周年記念招待野球 仙台育英高校(松本市野球場)
4月15日	松商野球部創部110周年記念招待野球 仙台育英高校(松本市野球場)
5月～9月	マスターズ甲子園長野大会参加
6月11日	松商野球部創部110周年記念品 バッティングゲージ贈呈式
17日	京浜校友会総会出席
26日	松商学園硬式野球部 部長・監督・スタッフ激励会
30日	松商野球部OB会報(第9号)発行
7月2日	松商学園硬式野球部 必勝祈願・千羽鶴贈呈式
4日	松商野球部後援会総会
10月4日	中信地区高等学校OB連盟 ゴルフ大会 団体戦 優勝
15日	中信地区高等学校OB連盟 野球大会 雨天中止
22日	マスターズ甲子園長野大会 準決勝・決勝(行事参加のため辞退)
11月10日	2023年度全国高校野球 OBクラブ連合総会
30日	松商野球部OB会役員会及び 部長・監督・スタッフ慰労会

現場指導者激励会

夏の大会を目前にした6月24日、皆が一丸となって大会を迎えられ、甲子園出場を勝ち取るように激励会を開催しました。



OB会役員による現場指導者激励会

必勝祈願祭・横断幕贈呈式

7月3日、夏の大会の勝利を願い必勝祈願祭と横断幕贈呈式が行われました。



松商野球部OB会役員

顧問	宮坂真一(41回)
〃	下村幸雄(45回)
〃	高山一栄(56回)
〃	末岡幹也(57回)
〃	丸谷義一(60回)
〃	高根 基(61回)
〃	福岡 進(65回)
〃	大月吉史(57回)
〃	中原英孝(63回)
〃	望月 登(63回)
〃	唐木 裕(66回)
〃	小尾淳美(77回)
〃	足立 修(81回)
〃	召田三博(74回)
〃	飯沼光永(73回)
〃	伊藤昌志(81回)
〃	大月弘士(83回)
〃	横山正志(75回)
〃	塩原久悦(82回)
〃	圓山 徹(83回)
〃	小口卓哉(88回)
〃	堤 良一(92回)
〃	深澤友和(93回)
〃	前島秀俊(103回)
〃	遠山裕太(105回)
〃	関谷将宏(107回)
〃	桃井亮介(102回)
〃	本郷剛史(80回)
〃	輪湖源和(86回)
〃	前島秀俊(103回)
〃	深澤友和(93回)
〃	網野俊輔(96回)
〃	小野秀樹(96回)
〃	戸谷正一(66回)
監事	中 信 O B 会 担 当 長野県OB連盟 支援部長 支援部長 京浜担当
計 算 士	〃
幹 事 長	〃
副 幹 事 長	〃
副 会 長	〃
相 談 役	〃

◆あとかぎ◆

「硬式野球部・校技」このことは昭和3年に全国優勝を果たし、昭和5年に米澤武平2代目校長が、本校の「校技」に定めて現在に至り、学校法人松商学園理事會、評議員会でも周知され、前上條校長講話により、教職員・生徒に伝えられ関係する方々に広く認識されています。

硬式野球部は毎年甲子園出場・上位進出を目標にして強化を図り、部員は本校の「校技」に位置づけられていることを心にとどめ置き、全校生徒の模範となる態度・行動を身に付けるべく精進しています。OB会員も誇りを持って声を大にして伝承していきましょう。

松商野球部の伝統とはOB会員一人ひとりが「松商魂」の熱い思いを持ち続けて行動しているからこそその結晶だと思います。

第十号も絶大なる協力者であり続けていただくための情報源として楽しめる会報となったと思います。

会報発刊にあたりまして、協力いただきましたすべての方々、心より感謝いたします。

最後になりますが、会員各位の益々のご活躍をご祈念申し上げあとかぎとさせていただきます。

松商野球部OB会
幹事長 横山 正志

松商野球部OB会報 (Vol. 10)

発行日	令和6年6月30日
発行者	召田三博
編集	OB会報編集委員 横山正志(75回) 太田浩行(75回) 伊藤昌志(81回) 圓山 徹(83回) 小口卓哉(88回) 堤 良一(92回) 関谷将宏(107回)
印刷	(有)花岡印刷